

2021年度地理学教室関連記事

<地理学科>

* 2021年度在籍学生数 (11月現在)

1年 140名

地域文化研究専攻：73名

地域環境研究専攻：67名

2年 133名

地域文化研究専攻：73名

地域環境研究専攻：60名

3年 142名

地域文化研究専攻：73名

地域環境研究専攻：69名

4年 121名

地域文化研究専攻：64名

地域環境研究専攻：57名

合計 536名

地域文化研究専攻：283名

地域環境研究専攻：253名

* 地理学科スタッフ

学科主任 小野映介

専任教員12名 江口 卓・小田匡保・小野映介・鈴木重雄・鈴木秀和・須山 聡・瀬戸寿一・高橋健太郎・田中 靖・土谷敏治・橋詰直道・平井幸弘

兼任教員2名 清水善和・山縣 毅 (総合教育研究部自然科学部門)

非常勤講師21名 生田清人・石井久生・市川清士・伊藤修一・伊藤慎悟・伊藤道治・今井理雄・王尾和寿・川合泰代・川元豊和・鈴木毅彦・鄭 美愛・中村洋介・平井史生・福井一喜・柳田 誠・山川信之・山口太郎・山本充・湯田ミノリ・吉田健洋

* 訃報

長野 覺 元教授 (1978-1997年度 在職) は2021

年9月13日に逝去された。謹んで哀悼の意を表します。

* 地理学科公開講演会

新型コロナウイルス感染症拡大のため開催せず

* 地理学談話会

新型コロナウイルス感染症拡大のため開催せず

* 退職教員最終講義

2021年12月23日(木) 9:00-10:30, 3号館306
橋詰直道：リタイヤメント・コミュニティと海外ロングステイ

* 地域調査入門・地域文化調査法・地域環境調査法・地域文化演習・地域環境演習

地域調査入門 (2単位)

小野映介 地域：沖縄県島尻郡久米島町, 6月21日~23日(2泊3日), 参加学生13名
テーマ：久米島のひとと自然

須山 聡 地域：鹿児島県奄美大島, 11月3日~6日(3泊4日), 参加学生10名
テーマ：奄美大島入門

田中 靖 地域：東京都内(3回)・港北ニュータウン・箱根, 日帰りですべて5回, 参加学生8名
テーマ：身近な自然とGIS

平井幸弘 地域：高知県高知市, 11月21日~23日(2泊3日), 参加学生18名
テーマ：河川下流域・海岸地域の自然と環境

地域文化調査法 (4単位)

須山 聡 地域：鹿児島県奄美大島, 7月4日~9日(5泊6日), 参加学生17名
テーマ：奄美大島の地域性

瀬戸寿一 地域：北海道室蘭市, 10月20日~23日(3泊4日), 参加学生15人

テーマ：情報化とまちづくり

高橋健太郎 地域：新潟県十日町市，11月14日～17日（3泊4日），参加学生21名

テーマ：農山村の暮らしと産業

土谷敏治 地域：茨城県ひたちなか市と周辺地域，11月11日～14日（3泊4日），参加学生9名

テーマ：地方都市における公共交通の整備

地域環境調査法（4単位）

江口 卓 地域：鹿児島県屋久島町，11月5日～8日（3泊4日），参加学生15名

テーマ：屋久島の自然の地域性

小野映介 地域：北海道釧路市，10月17日～20日（3泊4日），参加学生16名

テーマ：津波被害の軽減のための取り組みと課題

鈴木重雄 地域：埼玉県秩父市，10月17日～20日（3泊4日），参加学生9名

テーマ：秩父盆地の自然環境と人々の暮らし

鈴木秀和 地域：群馬県長野原町・嬭恋村周辺，10月30日～11月2日（3泊4日），参加学生8名

テーマ：浅間山北麓の自然と人との関わり

平井幸弘 地域：長崎県大村市，11月6日～9日（3泊4日），参加学生15名

テーマ：内湾域における環境問題とワイズユース

地域文化演習（4単位）

小田匡保 地域：千葉県館山市・南房総市，11月6日～9日（3泊4日），参加学生3名

テーマ：館山市・南房総市の地域調査

橋詰直道 地域：静岡県熱海市，10月15日（日帰り），参加学生2名

テーマ：斜面住宅地の高齢化

地域環境演習（4単位）

田中 靖 地域：千葉県南房総市，10月28日～29日（1泊2日），参加学生9名

テーマ：南房総の地形と地殻変動

*「駒澤地理」第57号（2021年3月10日発行）

橋詰直道：マレーシアにおける日本人の高齢退職者の移住—キヤメロンハイランドにおけるロングステイを中心に—. 1-22.

土谷敏治：ひたちなか市における公共交通政策とコミュニティバスネットワークの拡充. 23-60.

長沼信夫・角田清美・高木正博・徳田光治：江戸川河口地域の地形と不圧地下水. 61-82.

書評

鎌田誠史・山元貴継・浦山隆一編著：『「抱護」と沖縄の村落空間—伝統的地理思想の環境景観学—』（須山 聡）. 83-90.

川合泰代著：『聖地への信仰—地理学からのアプローチ—』（小田匡保）. 91-98.

2020年度地理学教室修士論文要旨. 99-102.

20120年度地理学教室修士論文・卒業論文論題一覧. 103-108.

2020年度地理学教室関連記事. 109-111.

<応用地理研究所>

*応用地理研究所スタッフ

所長 江口 卓

所員 21名（所長を含む）

*専門研究員の受け入れ

伊藤修一・伊藤慎悟・今井理雄・大槻 涼・長谷川宏一（5名）：2021年4月1日～2022年3月31日

*「地域学研究」第34号（2021年3月28日発行）

論説

鈴木秀和・佐藤哲夫・江口 卓・高木正博・杉本 惇・Pema WANGDA・KAKA：ティンプーの都市化と水道水源. 1-31.

資料

太田悠文：群馬県前橋市における中心市街地の変容. 33-49.

<大学院地理学専攻>

* 2021年度在籍大学院生

修士課程

1年：高村 楓

2年：新井健生・中村友美

* 大学院地理学専攻スタッフ

専攻主任 高橋健太郎

専任教員12名 江口 卓・小田匡保・小野映介・鈴木重雄・鈴木秀和・須山 聡・瀬戸寿一・高橋健太郎・田中 靖・土谷敏治・橋詰直道・平井幸弘

非常勤講師2名 王尾和寿・柳田 誠

* 発表会

卒業論文発表会

新型コロナウイルス感染症拡大のため開催せず

修士論文構想報告・修士論文中間発表会

2021年10月7日(木) 16:30-18:00,

駒澤大学駒沢キャンパス3-205, 発表者3名

修士論文構想・修士論文発表会

2022年1月22日(土) 13:00-14:30,

駒澤大学駒沢キャンパス3-205

高村 楓：修士論文構想発表

新井健生：桐生市中心市街地におけるフードデザート問題—高齢者の移動手段に着目して—

中村友美：石垣島白保地区における地下水の水位変動と水質特性

* 「駒澤大学大学院地理学研究」第49号

(2021年6月21日発行)

新井健生：地方都市の中心市街地と郊外部におけるフードデザート問題—群馬県桐生市を事例に一. 1-10.

松岡 農：千葉県における中等教育機関の開設と変遷. 11-23.

令和2年度 修士論文要旨. 25-28.

* 第37回紫竹学林会(大学院地理学専攻OB会)

最終講義・総会

2022年1月22日(土) 15:00-17:50

最終講義

橋詰直道先生：都市緑地と郊外住宅地の研究を振り返る

を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため延期。なお総会および懇親会は中止。